

令和5年度 小・中学校教育課程研究協議会に係る各部会の改善の重点

部会名

中学校 社会科

改善の重点

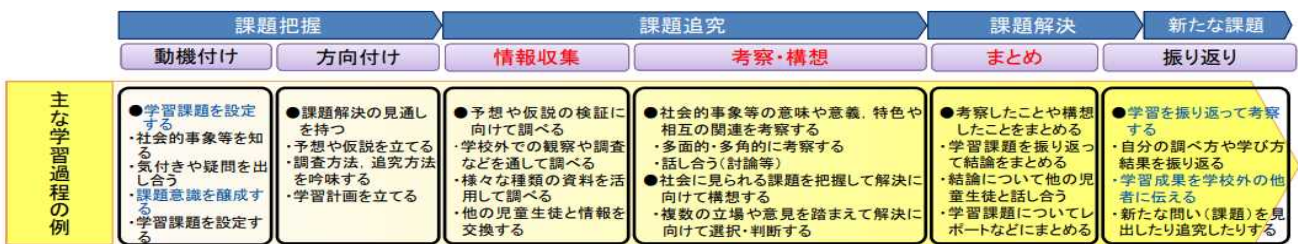
- ① 育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、単元など内容や時間のまとまりを見通して学習課題を設定し、課題を追究したり解決したりする学習過程を工夫すること。その際、1人1台端末を効果的に活用すること。
- ② 適切な評価規準を設定するとともに、評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、資質・能力の育成に生かすようにすること。

1 設定理由

社会科の学習では、資質・能力の育成に向けて、社会的な見方・考え方を働かせ、単元など内容や時間のまとまりを見通して、課題を追究したり解決したりする活動の一層の充実が求められている。そのためには、生徒が社会的事象から課題を見だし、解決の見通しをもって他者と協働的に追究し、追究結果をまとめ、自分の学びを振り返ったり新たな問いを見だしたりする学習過程(下記イメージを参照)を工夫することが不可欠である。その際、社会的事象等について調べまとめる活動等において、1人1台端末を効果的に活用することが大切である。

また、「生徒にどのような力が付いたか」という学習の成果を的確に捉え、指導の充実を図るためには、単元など内容や時間のまとまりを見通しながら、生徒の具体的な姿を想定して評価規準を設定するとともに、評価の場面や方法を工夫することが重要である。

◆社会科、地理歴史科、公民科における学習過程のイメージ（「StuDX Style（文部科学省）」）



2 研究を進めるに当たって

(1) 実践に当たっては、以下の点に留意すること。

- ① 「社会科における学習過程のイメージ」を参考に、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を重視した単元を構想し、単元の指導計画に単元の学習課題と、その課題に対するまとめを示すこと。また、「社会的事象等について調べまとめる技能」（学習指導要領解説社会編 P186 を参照）を参考に、1人1台端末の効果的な活用場面や方法を位置付けること。

◆社会的事象等について調べまとめる技能

- 手段を考えて課題解決に必要な社会的事象等に関する情報を収集する技能
- 収集した情報を社会的な見方・考え方に沿って読み取る技能
- 読み取った情報を課題解決に向けてまとめる技能

- ② 生徒の具体的な姿を想定して評価規準を設定し、評価の場面や方法を工夫して位置付けること。

(2) 参考とすべき資料

- ① 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（国立教育政策研究所）
- ② StuDX Style（文部科学省）
- ③ 早わかり！単元計画の作成手順 中学校社会（令和2年2月 大分県教育委員会）